



明治150年・福井しあわせ元気国体開催記念

皇室と越前松平家の名宝

—— 明治美術のきらめき ——

- 主催／福井市立郷土歴史博物館
- 会場／第I部 1階松平家史料展示室
第II部 2階企画展示室
- 会期／平成30年9月22日(土)
～11月4日(日)
- 休館日／10月1日(月)、15日(月)

福井国体の開催と明治維新150年を記念して、明治時代の皇室の活動を起点に、第I部において皇室と越前松平家の歴史を、第II部において帝室技芸員による明治美術工芸の精華を展示いたします。

第I部 皇室と越前松平家の名宝

日本が近代へと新たな国の歩みを進めた明治時代、皇室も新たな歩みを始めました。

明治維新において大きな功績を残した旧福井藩主松平春嶽(1828～1890)は、じゃこうのましこう麁香間祇候として明治天皇に近侍し、華族の重鎮として皇室を支えました。また春嶽の実子慶民(1882～1948)は大正・昭和天皇に仕え、最後の宮内大臣、宮内府長官を勤め、昭和天皇の全国巡幸にも従いました。

松平春嶽略歴 (1828～1890)



文政11年9月2日徳川御三卿の一、田安家に生まれる

天保9年9月11歳で福井藩16代藩主就任

安政5年7月隠居急度慎の処分を受け、糸魚川藩松平茂昭福井藩17代藩主就任

文久2年7月政事総裁職に就任、政界に復帰

慶応3年12月朝廷により議定に任命される、同年8月27日明治天皇即位の儀に出席、同年9月8日明治改元式に出席、同年9月26日正二位昇叙、明治2年8月民部卿、大蔵卿、大学別当兼侍読を歴任

同3年7月麁香間祇候就任、同6年12月19日明治天皇真崎邸行幸、同12年1月29日明治天皇より『徳川礼典録』編纂御下命、同15年1月27日明治天皇に『徳川礼典録』を献上、花瓶一对下賜、同21年9月叙従一位、同23年6月2日薨去

松平慶民略歴 (1882～1948)

明治15年3月13日松平慶永の嫡男として生まれる

同35年10月英国へ渡り、同38年オックスフォード大学入学

同39年8月越前松平家相続解除の認可を得る、同年9月父春嶽の勲功により子爵受爵、一家を創立、同41年同大卒業、同42年英国より帰国

大正元年10月宮内省侍従就任、同6年6月春嶽公記念文庫創設、昭和5年9月17日式部次長、同9年7月17日式部長官、同20年7月9日宗秩寮総裁、同21年1月16日宮内大臣、同22年5月3日宮内府長官を歴任、同23年7月18日死去



